

次号予告

特集 ソフトウェア/アルゴリズムの権利保護 をめぐる

ソフトウェア/アルゴリズムの特許による保護

——技術的立場からの提言——

……三次 衛 (富士通エフ・アイ・ピー)、
岡 伸夫 (富士通)

侵害のパラドックス

：侵害の倫理についてのエンジニアの見方

……Douglas Brotz (Adobe Systems, Inc.)

ソフトウェアの抽象化指向特性と特許

……玉井哲雄 (東京大学)

法は保護不能な対象を追い求める言語同断の愚か者
なのか？

……Andy Johnson-Laird (Johnson-Laird, Inc.)

暗号と知的所有権 ……辻井重男 (中央大学)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	逆瀬川 浩孝	早稲田大学
副委員長	山上 伸	東京ガス(株)
	山下勝比拡	(株)東芝
委員	伊藤 裕康	(株)富士通研究所
	上野 信行	住友金属工業(株)
	葛山 康典	早稲田大学
	國澤 直樹	東京電力(株)
	栗田 治	慶応義塾大学
	佐賀井重雄	(株)電力中央研究所
	高橋 真吾	東京工業大学
	高橋 敬隆	日本電信電話(株)
	中里 宗敬	青山学院大学
	西尾チゾル	筑波大学
	服部 正太	(株)構造計画研究所
	水野 眞治	統計数理研究所
	矢島 安敏	東京工業大学

編集後記●町はすっかり真夏です。うだるような暑さの外を見ながら、編集後記を書いています。今年は冷夏との予想でしたが、去年と同様に暑い夏ようです。毎日のように夕立があり、まるで東京が熱帯にあるかのようです●さて、今号では、同一のスキャンパネルデータを用いた、シェア予測のコンペが行なわれています。参加者、グループそれぞれが各々のアイディアにもとづいて、データの解析・モデル化を行ない、その結果を比較するという非常に厳しく、かつユニークな試みです。全く同じ問題・データに対してこれほどたくさんのアプローチ方法があるものかと感心することしきりでした●それぞれのモデル化の工夫に感嘆しながら、これらの論文の基礎になっているデータについて考えました。最近では、情報化の進展により、データを大量に、しかも迅速に収集することは、設備さえ整っていればそれほど難しくはないことになってきたように思われます。しかし、あらかじめ誰かの意志にもとづいて、集計されたデータではなく、生のデータそのものに直接アクセスすることができれば、その中から、見落としがちな情報を抽出したり、

その意味するところを見いだしたりするのはORのもっとも得意とするところですが●漠然と考えているうちに、今後はデータの中から問題自身を発見するような作業が必要になるのではないかと感じました。問題が与えられた所からスタートするのではなく、問題自身を探すためのORと言えましょう。これができれば、受身のORから、1歩進んだ見地に到達できるような気がするのですが、いったいどのようにしたら良いのか、見当もつきません●今年度より編集委員をやらせていただいておりますが、いきなり編集後記を書けとの指令が下りました。しかし、何しろまだ右も左もよくわかっておりません。先日、企画会議ということで、編集の方針などを徹底的に議論したのですが、「誰が読んでも楽しくて有用となる」という方向と「学会の人のイエローページとして、活用できる」という一見相矛盾する2つの方向性を模索しながら編集活動を行なってゆく必要があることだと痛感いたしました。今後ともよろしくお願いいたします。

(佐賀井重雄)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成7年9月号 第40巻 第9号 通巻417号

代表者 村井 勉

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 逆瀬川 浩孝

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円 (本体922円, 郵送料含) 年間予約購読料10,800円 (税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337)、日経弘報社 (3563-2241) へ